

2014年5月28日

ジェットスター航空

ジェットスター航空、ボーイング 787 型機を 7 月 24 日から ゴールドコースト＝東京(成田)線に導入

ジェットスターグループのジェットスター航空は、2014年7月24日からゴールドコースト＝東京(成田)線にボーイング 787 型機を導入し、週最大 7 便を運航する予定です。

ジェットスターでは、現在長距離路線で使用しているエアバス A330 型機を最新鋭のボーイング 787 型機へと順次変更していきます。なお、ジェットスター航空は現在 4 機のボーイング 787 型機を保有しており、同機材の導入路線はゴールドコースト＝成田線を含めて計 7 路線となります。

ジェットスター航空の CEO のデビッド・ホールは次のように述べています。

「ボーイング 787 型機は、お客様また航空会社にとっても期待の航空機です。この機材の導入により、お客様にとってより快適な機内を実現することができ、燃費効率も同時に向上することが可能です。ジェットスターは、アジア太平洋地域における LCC として初めてボーイング 787 を運航しました。今後もグループとしての 10 年の運航ノウハウや経験を活かして、低運賃による空の旅を提供し続けてまいります。」

また、ジェットスターグループ日本支社長の片岡優は次のように述べています。

「ジェットスター航空は、2007年3月に日本に初めて就航した国際線 LCC です。その就航から今日に至るまで、日本とオーストラリア間の長距離路線において 280 万人以上のお客様にご利用いただいております。今後も、ゴールドコースト＝成田線のみならず他の日本路線においても最新鋭機を導入し、低運賃で快適な空の旅を提供してまいります。」

■導入機材に関する仕様について

導入機材: ボーイング 787-8
全幅: 60.1m
全長: 56.7m
全高: 16.9m
胴体幅: 5.49m
エンジン: 2 x GEnx-1B64
巡航速度: マッハ 0.85
航続距離: 10,186km

座席数: 合計 335 席

ビジネスクラス: 21 席(座席配列 2-3-2)

エコノミークラス: 314 席(座席配列 3-3-3)

座席仕様: 全席レザー

ビジネスクラス: 座席幅 48cm、シートピッチ(座席の前後間隔)97cm

エコノミークラス: 座席幅 43cm、シートピッチ(座席の前後間隔)76cm

■ゴールドコースト=東京(成田)線 運航ダイヤ

便名	ゴールドコースト発	成田着	運航日	期間
JQ11	11:10	18:55	月、木、金、土、日	7/24-7/31
			毎日	8/1-9/30
	11:15		月、水、木、金、土、日	10/1-10/25

便名	成田発	ゴールドコースト着	運航日	期間
JQ12	20:55	06:20(+1)	月、木、金、土、日	7/24-7/31
			毎日	8/1-10/5
		06:25(+1)	月、水、木、金、土、日	10/6-10/25

■運賃:

ビジネスクラス: 片道 60,000~110,000円
 エコミークラス「Starter」: 片道 23,000~98,000円

支払手数料、燃油特別付加運賃、諸税が別途必要です。諸条件が適用されます。エコミークラスには受託手荷物は含まれません。ビジネスクラスは 30kg までの受託手荷物が含まれます。

ジェットスターグループについて

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の路線網を誇り最も急速に成長している LCC で、オーストラリアおよびニュージーランドのジェットスター航空(カンタスグループの子会社)、シンガポールのジェットスター・アジア航空、ベトナムのジェットスター・パシフィック航空、日本のジェットスター・ジャパン、そして香港のジェットスター香港(関係当局の承認を前提とする)から構成されています。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の 60 都市以上に週 4,000 便以上を運航しています。2013 年会計年度には、ジェットスターグループ全体で 2,300 万人超のお客様にご利用頂きました。

ジェットスター・ジャパン株式会社について

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄に就航した LCC であり、2013 年からは名古屋(3 月)、大分(3 月)、鹿児島(5 月)、松山(6 月)、高松(12 月)にも就航しています。現在、エアバス社 A320 型新造機 18 機(180 席/機)で 14 路線、1 日最大 76 便運航しており、今後 24 機まで増強する予定です。ジェットスター・ジャパンには、豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。